

# 地域医療連携だより

2015年9月

## ■泌尿器科からのご案内

2015年9月より当院泌尿器科部長に就任された医師をご紹介します。  
常勤医師2名・非常勤医師9名体制となり、緊急受け入れ対応が可能となりました。



### 泌尿器科部長・林医師から地域の皆さまへ

昭和58年秋田大学医学部卒業、同年慶応大学医学部泌尿器科へ入局し、大学病院および関連病院で研鑽を積み、今年8月31日をもって練馬総合病院を退職し、9月1日より行田総合病院にてお世話になることになりました。

前立腺肥大症および尿路結石については、内視鏡治療に早くから携わり機器開発のアドバイスも行ってきました。当院においても最新の内視鏡治療を導入し、治療の「柱」とする予定です。また、腎および尿路悪性腫瘍は手術方法や抗がん剤治療も大きく変化しており、低侵襲な治療へと移行しつつありますが従来確立された治療の利点もあります。今後は症例に応じた「個々の特性」を重視した治療導入を心がけたいと思っています。

行田総合病院は埼玉北部の中核病院であり、地域医療の要として期待されているものと思われます。泌尿器科では、尿閉、尿路感染症、肉眼的血尿、尿路結石による痙攣発作などが救急医療での主な主訴になるものと思われますが、できるだけ速やかな診断、治療の導入ができるようシステム作りを行い期待に応えたいと思います。

より信頼される泌尿器科を目指して、近隣医療施設とのスムーズな連携作りをさらに積極的に図りたいと思いますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。

### 林 暁

SATORU HAYASHI

秋田大学医学部 昭和58年卒

専門科目：泌尿器科

専門医・認定医：日本泌尿器科学会専門医  
日本泌尿器科学会指導医

#### PROFILE

1983年	慶応大学泌尿器科	1989年	大田原赤十字病院
1990年	川崎市立病院	1992年	慶応義塾大学病院
1993年	さいたま市立病院	1995年	国立埼玉病院
2000年	立川共済病院	2008年	練馬総合病院

### ■林医師 外来担当表

	月	火	水	木	金
午前			○		
午後				○	○

### ■泌尿器科 夜間待機表（※泌尿器科の医師が待機している曜日です）

	月	火	水	木	金
18時～翌9時	○	○	○	○	○

# 研修会のご報告

## ●平成 27 年 7 月 29 日 (水) ～行田市消化器疾患懇話会～

《第 1 回行田市消化器疾患懇話会》がホテルガーデンパレス熊谷で開催されました。

### ●特別講演

「わかりやすい外科の講演と症例提示を期待しています」という、行田市医師会長・根本先生による開会の挨拶に始まり、行田中央総合病院外科部長・高橋先生が司会を務めた特別講演では、当院外科部長・川原林先生による『大腸癌転移の外科治療』が講じられました。熊谷総合病院外科・北先生から多くの質問が上がり、外科医師同士の活発な意見交換が行われました。

### ●症例提示

当院外科副部長・坂野先生が司会を務め、病理診断科部長・福島先生と放射線科・小笠原先生をコメンテーターに症例提示がスタート。当院の医師 4 人が演者を務め、1 つの症例に対して放射線科医師・病理診断科医師からのコメントを交えることにより、丁寧でわかりやすく興味深い症例提示となりました。

消化器外科・消化器内科医師が講じる 1 件の症例提示に対して、放射線科・病理診断科の見解発表と参加者からの質問を行うという初の試みがゆえ、少々時間がおしてしまいましたが、とても有意義な症例提示となりました。

当院消化器内科部長・高島先生による「第 2 回・第 3 回とぜひ続けていきたいと考えています。よろしく願いいたします」という、閉会の言葉で締められました。



【行田市医師会長】  
根本医院院長  
根本和雄先生



【特別講演司会】  
行田中央総合病院外科部長  
高橋 渉先生



【特別講演】  
当院外科部長  
川原林伸昭先生  
【演題】  
大腸癌転移の外科治療



【症例提示司会】  
当院外科副部長  
坂野孝史先生



【症例提示コメンテーター】  
当院病理診断科部長  
福島純一先生



【症例提示コメンテーター】  
当院放射線科  
小笠原飛鳥先生



【症例提示 1】  
当院救急総合診療科  
濱田浄司先生  
【演題】  
Borrmann4 型様の発育形態を示した胃高分化管状腺癌の 1 例



【症例提示 2】  
当院外科  
木村都旭先生  
【演題】  
術前化学療法により膀胱温存 RO 切除可能となった広範囲膀胱浸潤を伴う S 状結腸癌の 1 例



【症例提示 3】  
当院内視鏡センター長  
芹澤昌史先生  
【演題】  
肛門近傍の扁平腫瘍を ESD にて切除した 1 例



【症例提示 4】  
当院消化器内科医長  
南雲大暢先生  
【演題】  
ESD にて切除し得た、深達度診断に苦慮した早期胃癌の 1 例

### 【ご参加いただいた先生方】

根本医院院長・根本和雄先生  
行田中央総合病院・高橋 渉先生  
池畑クリニック院長・池畑信正先生  
栗原医院院長・栗原 肇先生  
荒木医院院長・荒木 宏先生  
加藤内科医院院長・堀内 規先生  
おおさきクリニック院長・大崎和幸先生  
高津江南クリニック院長・高津 出先生  
熊谷総合病院・北 順二先生  
ハピネス診療所院長・細村泰夫先生  
ひらの内科胃腸科院長・平野博之先生

(順不同)

## 地域医療連携室 VOICE

日頃より地域医療連携にご協力いただき、誠にありがとうございます。

埼玉県北部は、群馬県と同様に夏は非常に暑い地域であることは、皆様ご存知かと思われます。ちなみに埼玉県北部の過去最高気温は熊谷市で記録された 40.9℃です。体温より熱い気温…。斯く言う私も情「熱」を持って日々がんばっております。汗かくでお伺いをするのもあろうかと思われませんが、その際には温かい目で見ただけなら幸いです。まだまだ残暑が続きます。過ごしやすい季節までもう一踏ん張りです。

地域医療連携室 黒田 綾

地域医療連携室 直通 TEL.048-564-2537  
直通 FAX.048-564-2538